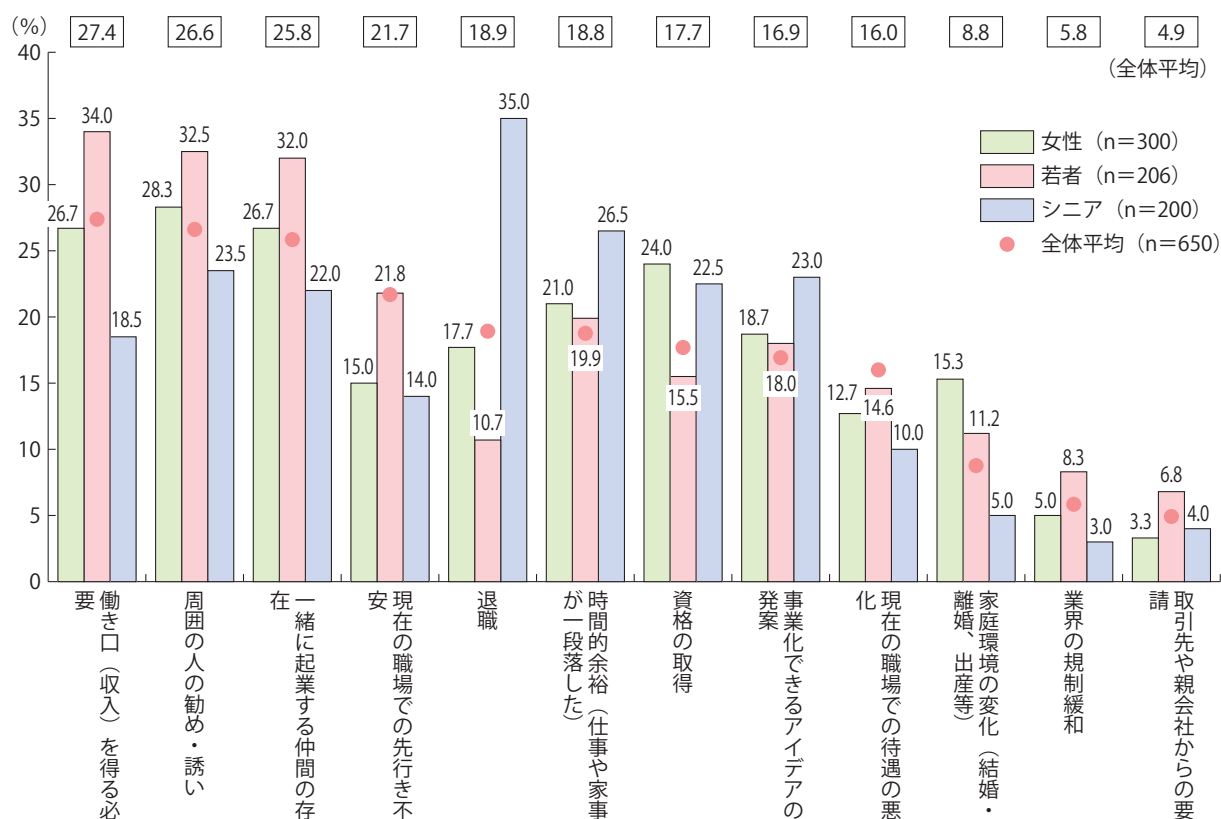


次に、女性や若者、シニアの特徴を見てみる。女性は、「周囲の人の勧め・誘い」、「一緒に起業する仲間の存在」とともに、「資格の取得」、「家庭環境の変化（結婚、離婚、出産等）」と回答する者の割合が比較的高い。若者は、「周囲の人の勧め・誘い」、「一緒に起業する仲間の存在」と回答する者が多く、周囲の影響を受けやすい傾向がここでも見て取れる。シニアにおいては、起業を意識したきっかけと同様に、「退職」を挙げる者

が多い。退職後に何らかの形で働くための手段として起業する傾向があることが、ここでも確認された。また、シニアにおいて興味深いことは、「働き口（収入）を得る必要性」よりも、「時間的余裕」や「事業化できるアイデアの発案」の方が多くことである。すなわち、収入目的というよりも、自由になった時間で自分がやりたいことをやるというのが、シニア起業の特徴といえよう。

第3-2-21 図 具体的な起業の準備に踏み切ったきっかけ



資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」（2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)）

- (注) 1. 起業準備者の回答を集計している。
2. 複数回答のため、合計は100%にはならない。